



～バンコクのごみ処理を改善したい!!～

バンコク環境局職員 練馬区のごみ処理現場を視察

とき 5月15日(水) ※研修は5月14日(火)～16日(木)の3日間

ところ 練馬清掃事務所、石神井清掃事務所、練馬区資源循環センター ほか

15日、タイのバンコク環境局職員30名が練馬区を訪れ、区のごみ収集場での回収・分別作業の様子や、使用済み食用油(廃食用油)のバイオディーゼル燃料への精製過程などを視察した。また、練馬区の廃棄物処理計画等のリサイクル・廃棄物施策についての研修を受けた。

この研修は、アジア大都市ネットワーク21を通じて東京都から練馬区に依頼があり、都と協力して3日間の日程で行われた。練馬区は、23区でも先進的な取り組みをしていることから、バンコクの職員からも「ぜひ練馬区を視察したい」との要望があり、実現した。

この日、午前中の研修を終えた女性は「バンコクではごみの分別がないため、分別してごみが置かれている集積所を見て、とても驚きました。捨てる曜日や分別を守ってごみを出す、区民の意識の高さが伺えました。分別収集において、区民の協力が大事なのだとあらためて感じさせられました。また、作業服や清掃車両といった作業員が使う器具や車両についても、仕事をする環境や安全面への配慮がなされていて、とても感心しました」と感想を話してくれた。



視察の様子



講義の様子

【東京のリサイクルの取り組みを学びたい!】

今回の研修は、アジア大都市ネットワーク21を通じて、「東京の廃棄物処理やリサイクル施策の取り組みを学びたい」とのバンコク側から要望を受け、東京都と練馬区が協力して実施している。研修では、バンコク側からの要望に沿って、リサイクルの取り組みや大規模建築物の廃棄物処理について、視察や講義等を行い、バンコクの今後のごみ処理施策の一助としてもらう。

○研修内容【Aグループ】 ※2つのグループに分かれ、Bグループは中央防波堤埋立処分場の視察

(午前) 練馬区の資源・ごみの収集現場(古紙回収・容器包装プラスチック・可燃ごみ・粗大ごみ)の視察や、作業計画や安全作業手順(保護具の安全面の配慮)などについて説明
清掃事務所の取り組みについて講義など

(午後) 練馬区のリサイクル事業の取り組みの紹介、小学生向け環境学習講座の実演(ごみの分別についてクイズ形式で学習するプログラム。バンコク職員が児童役になって体験)、リサイクル施設の視察(練馬区資源循環センター)

16日は、新江東清掃工場の視察、都とバンコクの共同研究「大都市における廃棄物処理計画」の事例発表や、練馬区の取り組みを紹介する予定。

【バンコクの廃棄物処理の現状】

○概要 ・人口1,000万人(行政区50区) ・ごみ量9,000t/日(各区平均180t/日)

・ごみの組成 生ごみ50% 資源化可能ごみ10% その他40%

○ごみ処理 ごみの分別はなく、収集したごみは中継所(バンコク内3か所)に搬入。

中継所から処分場(バンコク外2か所)に運搬し、そのまま埋め立てられている。

【問い合わせ】環境まちづくり事業本部 環境部 清掃リサイクル課 清掃事業係 ☎03-5984-1059

※研修全体について 東京都環境局 廃棄物対策部 資源循環推進課 ☎03-5388-3575